

令和 4年10月25日 企画総務委員会・地域文教委員会・保健福祉委員会
連合審査会（未定稿）

午後1時45分開会

○嶋崎企画総務委員長 こんにちは。連日お疲れさまです。ただいまから企画総務委員会・地域文教委員会・保健福祉委員会連合審査会を開会いたします。

欠席届が出ております。子ども部、亀割部長、教育担当の佐藤部長、子ども総務課、大谷課長が、公務出席のため、環境まちづくり総務課、平岡課長が通院のため、それぞれ欠席でございます。

本日の日程及び資料をお配りしております。前回に引き続きまして、（仮称）千代田区第4次基本構想についてご議論を頂きたいと思っております。よろしくお願ひしたいと存じます。

それでは、日程に入ります。日程1、（仮称）千代田区第4次基本構想について、理事者からの説明を求めます。

○夏目企画課長 はい。それでは。（仮称）千代田区第4次基本構想につきまして、本日は、前回、頂戴したご意見につきまして、基本構想のたたき台の該当箇所を整理しましたほか、ご意見を頂戴した際、懇談会でも同様、あるいは類似のご意見を頂いている旨ご紹介したところですが、その点についても併せて整理いたしましたので、簡単にご報告をさせていただきます。と思ひます。

なお、前回の連合審査会のほうでも触れましたが、この連合審査会及び所管の企画総務委員会で頂戴したご意見につきましては、これから提出される基本構想懇談会の提言書の内容とともに、私どもで基本構想の素案にどのように反映させるか検討させていただきます。基本構想の素案をつくってまいりたいと考えております。素案ができましたら、その内容とパブリックコメントの実施について、所管の企画総務委員会のほうに報告をさせていただきます。その後の手続を進めてまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、本日の政策経営部資料「10/17連合審査会での主なご意見（要旨）」をご覧ください。

初めに表の見方でございますが、表の一番左側が、基本構想のたたき台の部分の名称です。その右隣、真ん中が、先日の連合審査会でのご意見の要旨、右側が懇談会でのご意見で、提言書の案文の基になったご意見の抜粋となっております。主なものについてのみご説明いたします。

まず、1番目ですが、教育と文化のまち千代田区宣言並びに国際平和都市千代田区宣言に関するご意見を頂戴いたしました。こちらについては、懇談会で両宣言を基本に、千代田区の自治を検討すればよい、平和を保てるような内容にしてほしいといったご意見、こちら、右側のほうに書いてございますが、こういったご意見、ご要望を頂戴しております。両宣言の理念を具体的に取組に落とし込んでいくのは分野別計画などになりますが、現在のたたき台でも触れておられますとおり、新たな基本構想でも、これらの宣言を踏まえて、行政運営に努めていくという方向性をしっかりと示していく必要があると考えております。

次に、2番目ですが、住み続けられるまちに関するご意見を頂戴しております。

先日は様々な団体でのヒアリングの際にも同様のご意見を頂いた旨を報告いたしました。懇談会でも資料の上から4つ目の枠になりますが、長期的に住み続けられるという、持続可能性にも触れた方がよいとのご意見を頂戴しているところです。

次に、3つ目になりますが、構想に千代田区らしさがないとのご意見です。構想策定に

関する区の課題認識につきましては、先日まで説明したとおりですが、構想そのものに千代田区らしさを出せるよう、様々にご意見を頂いているところです。行政の取組自体は住民福祉の増進が共通の目標ですので大きな差が出にくいところではございますが、どのような工夫ができるか、検討してまいります。

資料2ページ目をご覧ください。2ページ目の上から3番目、少数派・マイノリティに関連するご意見です。こちらに関しましては、先日も申し上げたとおり、懇談会でも活発に議論がなされた部分で、大変大切な視点であると認識をしております。基本構想では理念的な表現にならざるを得ない部分がありますが、具体の取組につなげていけるような工夫をしたいと考えております。

次に、3ページ目の2番目です。目標年次に関するご意見、それから、4ページの一番上の、目標年次とは別の指針ということに関するご意見です。

まず、目標年次あるいは期間につきましては、先日の連合審査会、それ以前の企画総務委員会、また基本構想懇談会の場でもご意見を頂戴している旨、ご報告をしたところです。私どもとしては対応が必要であるというふうに認識をしております。目標年次という形にするかどうかも含めまして、きちんと検討してまいりたいと考えております。また、別の指針というご意見に関しましては、目標年次あるいは目安となる年次をお示しするとすると、その時点における人口が大切な要素になるかなというふうに考えております。これについては、定期的に人口推計を実施するとともに、推計値と実態値の乖離などの把握に努めていく必要があると考えております。

最後に、同じ4ページの2番目です。基本計画を策定しないのであれば、分かりやすいものにしなければならないという、そういったご意見でございます。基本構想自体は大きな方向性を示すものとしまして、具体的な取組を示す分野別計画や予算などと一体で見ていただくことを想定しておりますが、ご指摘を踏まえまして、分かりやすくお示しする方策を検討していきたいと考えております。

そのほか頂戴したご意見につきましても、今後提出される懇談会の提言書とともに私どももほうで検討しまして、基本構想の素案のほうに反映してまいりたいと考えております。

なお、冒頭触れましたとおり、今後、構想の素案につきましては、企画総務委員会のほうに報告をしてまいります。素案や懇談会の提言書等につきましては、委員長ともご相談の上、各議員のポストにお届けする等、情報共有してまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

簡単ですが、以上です。

○嶋崎企画総務委員長 はい。前回のことにつきましてご意見を賜ったことを、所管のほうでまとめていただいてご報告を頂きました。

この件について、何か皆様のほうから、さらにご議論があればと思いますけど、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎企画総務委員長 はい。それでは、ここまでのところは確認をさせていただきます。この後も説明が続くのであれば、お願いします。なし。特にない。はい。

特にないということなんで、前回に引き続きまして、皆様のほうからお気づきの点があれば、ご質疑、ご議論を頂きたいと思っておりますけど、いかがでしょうか。ない。（発言する

者あり）ある。1人だけ。

小枝委員。

○小枝委員 前回のまとめと懇談会の比較、ありがとうございます。年次、目標年次がないという中で、ちょっとどう言ったらいいか、言ってみたいなと思う話なんですけれども。委員会でも言ったんですが、千代田区というのは、内濠があって外濠があって、江戸は400年で、何ですか、いろいろイベントをやりましたよね。で、江戸城からの歴史が、今度は外濠ができて400年というのは、たしか2037年とか、ここ10年からそこから、また巡ってくる。で、常磐橋も、今、一応完成しました。で、実はお茶の水も市ヶ谷もみんな外濠みたいな位置づけに、たしかなっていたかな。違う。市ヶ谷はちょっとあれかもしれないけど、そういう年次が、ちょっと、あるほうでイメージして、これから10年、20年、つまり先に向かっての道しるべとしての、いつ、どういう、何があるという、こう、先に向けての節目の歴史というものを位置づけておくと、一つの道しるべになるんじゃないかなと。それに向けて、今、ちょっと文化財があんまりみんなに見えるところに来ていないので、記録を見ていないかもしれないんですけど、区民なんかも参加しながら議論している場では、何ですか、東京都がつくっているそういった案内板、すごく立派な案内板があちこちにあるって、で、千代田区が途中まで一生懸命つくったふるさと文化の散歩道みたいなのも、あちこちにあるって。そういうのがこう、いろいろ、坂の名前、何とかのと、いろんなあるんですけど、そういうのを、やっぱり子どもたちがもっと触れられるような形で、今あるものを壊してつくるんじゃなくて、今あるものにもっと、こう、分かりやすく磨きをかけて、一貫性を持って、ストーリー性を持っていけたらいいんじゃないかというようなことが大分発言で出ていたんですよ。学校の先生方も、もっと、海外なんかだと、美術館とか博物館とか、本物に触れるというような授業もやっているんだけど、区内には博物館がない——区としての博物館はないので、そういうものも、まちの方は、あったほうがいいねとか、いろんな議論が出ている中で、そういった目標、これから10年、20年の中で、非常に、歴史を振り返って重要な節目がある事柄については、外濠については一つの例示でしかないわけなんですけれども、でも、千代田区としてはやはりこの近世最大の城郭と言われた、このまちの中にはいろいろあるということも、もっときちりと位置づけて、振り返り、年次に入れていく必要があるんじゃないかということが1点。

あと、もう一つ気になるのは、そうやって自分たちのアイデンティティーを深めていくということの一方で、やっぱり国際化とか、もう、区内に外国人の方もすごくたくさん住んでくださっていることを考えると、表記が、ずっと、こう、和暦単独で来ているということも、そろそろ「（西暦）」というのが入って、誰が見てもこう、分かりやすくすること、かということも一つのきっかけとして、自治体として、もう進めているところもあるので、入っていてもいいんじゃないか、そういった意見は懇談会の中では出ていなかったでしょうか。ちょっと2点。

○嶋崎企画総務委員長 2点。

○小枝委員 はい。

○嶋崎企画総務委員長 はい。

担当課長。

○夏目企画課長 前段の未来の節目の予定ですとか、あるいは伝統の継承とか本物に触れるといったような、そういったご意見。特に、本物に触れるといったような意見は、千代田にはいろんな美術館とか、そういった資源がそろっていて、そういうのを活用するというような話の中で、本物に触れる、もうちょっと活用したほうがいいんじゃないかというご意見は頂きました。で、その辺、恐らく今後の基本構想に直接落としていくのか、あるいは今後の行政運営の中でそういった意見を参考にしていくかというのがあるんですが、そこは今後の中で参考にしていくことなのかなというふうに考えております。

それから、この基本構想のたたき台の、今、和暦というような表記で書いてありますが、そこは少し検討させていただきたいと思います。区のほうの文書で、やはりこういった元号で和暦を書いて、その後に括弧で西暦を入れている例もありますので、で、それがまた、基本構想として見やすいのかどうかというところも含めて、ちょっとそこは検討させていただきたいと思います。

○嶋崎企画総務委員長 いいですか。

○小枝委員 はい。

○嶋崎企画総務委員長 はい。

ほかに。

○岩佐委員 SDGsについて、誰一人取り残さないという言葉があったので、意識はされていると思うんですけども、この17の目標が、具体的にどの項目に結びついているのかがちょっと分かりにくいんですけども、これが説明できるようにはしておいていただきたいと思うんですね。特に、169のターゲットまでを見れるような今回の構想ではないんですけども、大体これが、ジャンル分けすると、この17の目標のうちのここに当たるんだということをしっかりと示せるように、ひもづけられているようには、ちょっと感じられなかったもので、そこについてはどれぐらい意識されて、全く意識していないわけじゃないことが分かるだけに、外したのか、あえてちょっと読み取りにくいんですけども、そこはどういうご検討をされたんでしょうか。

○夏目企画課長 SDGsに関しては、やはり懇談会の中では特段ご意見なかったんですが、我々のほうとしては、構想と直接リンクさせるのかどうかというのは、かなり前の段階で検討しました。で、行政の取組自体は、そのSDGsみたいにいろんなゴールがあるということで、そこをやはり意識する必要があるだろうということです。ただ、今現在、この基本構想のたたき台と直接はリンクはさせていないですが、今ご指摘があった、その169のゴールのどこに該当するのかとかというのは、恐らく内部的に整理がつくと思いますので、そういった整理は内部的にきちんとして、問われたときにはお答えできるようにしたいと思います。

○嶋崎企画総務委員長 いいですか。

ほかに。米田委員。

○大串企画総務副委員長 SDGsの関連。

○嶋崎企画総務委員長 関連。

副委員長。

○大串企画総務副委員長 SDGsのこと、今ありましたけど、非常に大事なことだと思います。多くの自治体で、このSDGsの17の目標について、この政策はこの何番と何

番に当たるんだということ、あえてそこもきちんと明記しながら進めているというふうになっています。

先日、千代田区の再エネ電力推進の切替えのパンフレットにも、何番と何番というのがちゃんと書かれていたんで、あ、こういうふうに書いてあるんだなというふうに思ったんですけども、ぜひ、この基本構想策定の中に、ぜひ、今、岩佐委員言われましたけれども、しっかりと位置づけができたらいいなというふうに思いますので、よろしく願いします。

○夏目企画課長 17の目標、169のターゲットというところで、基本構想の各めざすべき姿等がございますが、その辺内部的にはきちんと整理をして、お答えできるようにしておきたいと思います。

○嶋崎企画総務委員長 米田委員。

○米田委員 DXというか、デジタル分野なんですけど、今後、書いているように、様々な分野でデジタル分野が広がっていくとあります。まあ、そのとおりだなと思います。ただ、もうちょっと具体的に書いていただくこともいいのかなと思います。例えば、区が目指している、スマートフォンで何でも行政手続きができるとか、こういったことを追加というか明示していただくと分かりやすいんじゃないかなと思います。で、その上で、使えない人もいらっしゃるんで、そういった方には、ちゃんと、SDGsではないですけど、しっかりフォローアップすると。デジタルデバインドの方にもちゃんとやると。こういったことも僕は必要じゃないかなと思うんですけど、いかがですか。

○夏目企画課長 まず、デジタルの、デジタル技術の活用ですとか、そういったことに関しては、まず、基本構想のたたき台の「はじめに」のところ、デジタル技術の活用やイノベーションを通じて、様々な課題解決に努めますというふうに書いております。また、「基本構想の実現に向けて」という最後のところも、「新たな技術や民間活力も積極的に活用しながら、課題に柔軟に対応していきます」と、この「新たな技術に」というところで、デジタルの推進ということを含めております。それで、今お話にありました、具体的な進め方、あとはデジタルデバインドをどうするか、この辺は、恐らく基本構想の下で、今、DX戦略というのがありまして、そのほかに、具体的な進め方ですとか課題認識とかを書いてございまして、そういったものと一体でご説明をして、ご確認いただくということになるかなというふうに考えております。

○嶋崎企画総務委員長 いいですか。

○米田委員 はい。

○嶋崎企画総務委員長 はい。

ほかにありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）

西岡委員。いいよ、大丈夫だよ。

○西岡委員 いいですか。

1点だけなんですけれども、他区ですとか、もちろん世田谷区なんかとは違って、世田谷区なんか、人口が90万人で、千代田区とも、土地の形状も異なるわけなんですけれども、特に千代田区はとても平地も少ないという意味では、ビルが大変多い。そういう特性を生かしていただいて、屋内施設も堂々と最大限活用するというふう、ちょっとお願いできるような形に、記載をお願いしたいと思います。で、この件に関しては、ぜひ、今日い

らっしゃらないという子ども部さんのほうにも、ぜひよろしくお伝えいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○夏目企画課長 千代田区の、まず特性としてということで、幾つか考え方があるかなと思います。それで、今、ビルの活用とか、そういった屋内施設については、具体的取組というふうになるかと思うんですけども、そこはまた構想の表現とは別に、具体的な予算に反映させていたり、あるいは将来像に向けた方針という、この構想の下の中で方針を示していくのかなと思います。

で、今ご指摘いただきました、その、恐らく子どもの遊び場とか、そういったところのご要望につきましては、子ども部のほうにもお伝えさせていただきたいと思います。

○西岡委員 ありがとうございます。

○嶋崎企画総務委員長 はい。

ほかにどうでしょうか。いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎企画総務委員長 特に、執行機関のほうからも、今の時点で、現時点では、3連合にお示しする資料を含めて、情報は先般と今回ということなんですけれども、よろしければ、3連合としては今日で締めさせていただいて、後は、企画総務委員会には引き続き議論の場がございますから、そこでやらせていただくと同時に、あとの2常任についても、情報提供だけはきちっと、担当の理事者からさせていただいて、最終的には企画総務委員会でまとめさせていただくと。今までもこういうやり方はやっていますけれども、今回もこういう、前回に倣ったやり方で、最終的にはまとめさせていただきたいということでご理解を頂ければ、もう一回、実は3連合、予定はしておったんですけども、今日で締めさせていただいて、後は企画総務委員会のほうでというふうな流れになると思うんですけども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎企画総務委員長 はい。ありがとうございました。

それでは、今日の意見はしっかりと受け止めさせていただいて、執行機関のほうも、そこはまたご報告をしていただきたいと思います。

それでは、日程の2、その他に入ります。委員の皆さんから何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎企画総務委員長 はい。ありがとうございます。

執行機関からは。（発言する者あり）ない。はい。

それでは、本日はこの程度をもちまして、3連合を終了いたします。ありがとうございました。

午後2時05分閉会